



安心して子どもを産み育てる環境整備は

山岡 幹雄 議員

妊娠期から子育て期の切れ目のない支援事業

健康福祉部長



▲賑わいを見せるAisai・ママ・マルシェ

安心して子どもを産み育てる環境整備は。

健康福祉部長 平成29年度に、子育て世代包括支援センター「あいさいっ子相談室」を開設し、母子コーディネーターを配置した。ワンストップ相談窓口にし、母子健康手帳交付時の面談、18歳まで子育て相談に対応す

る。子育て関係機関との顔の見える関係づくりで、庁舎内及び地域の子育て関係機関と連絡会議を行い、母子保健と子育て支援をつなぎ、子育て機関同士も顔の見える連絡会議を実施している。子育て支援推進プロジェクトチームが、子育てアプリの構築、子育てお助

け隊、Aisai・ママ・マルシェの開催を検討している。学識経験者、教育関係者、主任児童委員等で構成する運営協議会を年に2回開催し、この会議で委員からの指摘・提言をセンターの活動に反映している。

平成30年度予算は

平成30年度予算案の重点事業は。

総務部長 「民間保育所等の環境整備支援事業」6810万円、幼稚園・認定こども園の施設整備や保育士の業務負担を軽減する財政的な支援事業。「交通安全対策事業」4294万円、交通事故を未然に防ぐ整備事業。「道の駅周辺整備事業」780万円、道の駅を含めた周辺地域の観光拠点として位置付ける整備調査事業。「消防施設等整備事業、建物評価検討調査事業」4982万円、小型動力ポンプ付水槽車の更新と消防署本署の建替え検討調査事業。「佐屋中学校施設健全化度調査事業」2700万円、公立学校施設の老朽化に伴う建替え調査事業。「幼稚園入園料補助事業」150万円、市内在住者で、幼稚園の入園料を補助する保護者の経済的な負担軽減事業。